

一般質問



栃木 正則 議員

質問1 明年1月に予定している市長選挙への出馬は

市長 引き続き市政を担わせていただきたく、チャレンジしたい

問 池田市長は今日まで1期目の任期において市政を担ってこられました。

明年1月に予定されています、市長選挙への出馬に関して、池田市長の思いをお聞かせ願います。

答(市長) 平成29年12月16日に高谷前市長が突然の病で逝去され、当時、議会議長であった私は、高谷市政を引き継ぐとともに、「人口減少問題」、「産業の育成」、「次代を担う子どもたちへの応援」、「若者や女性、高齢者がチャレンジできる環境づくり」、「安心・安全な都市環境の整備」など、七つの政策目標を公約に掲げて市長選挙に臨み、責任ある市政を担わせていただくことになりました。

早いもので、それから3年7カ月が経過し、この間、「SDGs」と「市民目線に立ち、市民による市民のためのまちづくり」を理念に、市政運営を進めてまいりました。

市民の皆さんに約束した公約について

は、ほぼすべての事業を実施、予算化することができました。

これらはもちろん、多くの市民の皆さんのご理解と、温かいご支援、ご協力とともに、事務事業にあたる優秀な市職員の方があったからこそと思っており、関係する多くの方々に改めて感謝とお礼を申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束を見通せません。

加えて、人口減少問題、企業誘致、総合運動公園の再整備の実現や、防災体制の整備、巡回ワゴンの本格運行、事業の選択と集中など、残されている課題も数多くあります。

このような課題解決のため、そして北斗市の一層の発展のため、引き続き市政を担わせていただきたく、チャレンジしたいと考えています。

質問2 浜分近隣公園の将来構想は

市長 利用者ニーズを調査・把握して、整備していきたい

問 浜分近隣公園は地域住民の憩いの場であり、スポーツを楽しむ場であり、浜分地区の住民にとっては長年にわたって親しみ深い公園です。

浜分近隣公園について、将来どのような構想をお持ちなのかお伺いします。

答(市長) 昭和59年10月に供用開始され、

野球場・テニスコートなどの運動施設や大型複合遊具・幼児用遊具が整備され、園路やトイレも配置されており、健康づくりの場や憩いの場として、多くの皆さんに利用されている公園です。

しかしながら、供用開始から約37年が経過し、各公園施設の老朽化が顕著になるとともに、周辺の宅地開発に伴う人口増加や自家用車による来園者の増加で公園敷地が手狭となり、また、利用者ニーズの変化への対応といった問題点も見えてきている現状です。

浜分近隣公園は、周辺に比較的新しい宅地開発が多いなど、子育て世代が非常に多い立地環境です。

このことから、再整備にあたり、利用者のメインとなる子どもたちが十分に楽しめ、健康づくり・体力づくりのために外で元氣よく遊べる場所を提供すること、保護者の皆さんが安心して見守ることのできる公園が理想的であると考えており、そのような場所を提供することが行政の役割であると感じていますので、アンケート調査やワークショップなどの手法により、利用者ニーズの把握に努めてまいります。

質問3 フットボール場の利用開始を3月中にできないか

市長 状況に応じて臨機応変に対応・検討してまいります

問 運動公園フットボール場(人工芝)の利用開始を現在の4月1日から3月中の開始にできないかお聞かせください。

答(都市住宅課長) 利用者からの要望が多くなってくるのであれば、検討する必要があると考えます。

答(市長) 雪解けが早い年などは、3月に利用できる状況が整えば、市ホームページ等を通じてお知らせするなどの対応について検討してまいります。

問 陸上競技場を利用しているときに急激な天候の変化等に対応できる一時避難場所が必要と考えますが、市の考えをお聞かせください。

答(都市住宅課長) 現在、運動公園のリニューアルについて実施設計を行っており、日よけや休憩場所として、陸上競技場の周りに、屋根付きのあずまや建設を計画しています。



浜分近隣公園のようす